Congratulation
全国大会
２年連続入賞

第27回全国小学生陸上交流大会　男子６年１００メートル第３位

松前哲くん（久慈小６年）

極限状態で全力疾走
成長示した県新記録

心の成長で
２年連続表彰台
これからも自分の
可能性に挑戦を―

心の成長が支えた全力疾走。

第27回全国小学生陸上交流大会は8月27日、横浜市で開かれ、県代表の松前哲くん（久慈小6年）が男子6年100メートルで12秒35の県小学生新記録をたたき出し第3位。男子5年100メートルを制した昨年に続き全国の表彰台に立ちました。

昨年の王者として多くの期待と注目を受ける一方、プレッシャーと戦ってきた松前くん。同校の宇部智康先生の指導の下、夏休み中も懸命な走り込みを続け、連覇が懸かる全国大会に臨みました。

「大会当日は緊張し過ぎて体が全く動きませんでした。〝恥ずかしくない走りを〟と意識すればするほど、逆に走れなくなったんです」。

それでも予選は2組2位、準決勝は2組1位で決勝へ。心と走りを自ら修正し、徐々に調子を取り戻しました。

そして迎えた決勝。極限の緊張とプレッシャーで「覚えていない」という全力疾走は、何と県新記録。大一番で自身最高の走りを見せました。

「昨年からのプレッシャーが心の成長につながりました。緊張に負けず走り切れたのはそのおかげです。連覇はできなかったけど、力を出し切ったので悔いはありません」。

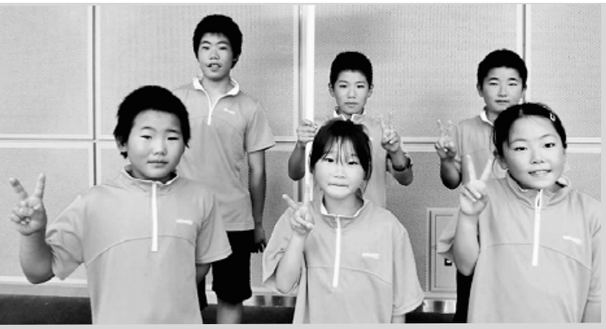
すがすがしい表情で言い切る松前くんは、すでに新たな目標を見据えています。

「これからはサッカーに集中し、チームに貢献できる選手になりたいです。まだ将来の夢は見つけていませんが、ずっとスポーツを続け、自分の可能性に挑戦し続けていきたいです」。

記録以上の成長と年齢以上の頼もしさを感じさせる松前くん。どんな道を選び、どのように突き進むのか―。今後の挑戦と成長が楽しみです。

ゲートボール・久慈来内ジュニア

年少メンバーで全国8強
さらなる飛躍に期待大！



年齢差をはねのけ、全国大会で大活躍した久慈来内ジュニア

第16回全国ジュニアゲートボール大会は7月30日～31日、埼玉県で開かれました。山形中学校と来内小学校の児童生徒で構成する「久慈来内ジュニア」は県代表としてジュニア2部（6歳～15歳）に出場。平均年齢9・3歳で大会2番目の年少メンバーながらベスト8まで勝ち進みました。

来内ジュニアはチームワークの良さと高い集中力で、予選リーグを3勝1敗で突破。決勝トーナメント1回戦では静岡県の全員14歳のチーム相手にミスなくプレーし、21対6で完勝しました。続く準々決勝の相手は、くしくも同じ岩手代表の盛岡大宮中学校チーム。試合は7対11で惜しくも敗れはしたものの、年齢差を感じさせないプレーは来年のさらなる飛躍を期待させるものでした。

大上來世紀（きせき）くん（来内小5年）は「予選突破できてうれしかったです。来年は優勝を目指します！」と雪辱を誓っていました。久慈来内ジュニアの今後の活躍に注目です！

モダンバレエ・小学生

息合う演技
全国入賞！

（左から）中屋敷さん、佐藤さん、寺澤さん

7月22日～29日、埼玉県で開かれた第44回埼玉全国舞踊コンクールのモダンダンス部門2部（児童の部）に、真理子・モダンバレエ・スタジオに通う寺澤穂乃佳さん（久慈湊小4年）と、佐藤葉月さん（長内小4年）が出場。洋野町の中屋敷理子さん（帯島小4年）を加えた3人で息の合った演技を披露し、埼玉県舞踏協会賞を受賞しました。

3人は「ダンスが大好きです！　練習して次はもっと上手に踊れるように頑張ります！」と声をそろえ、意欲をみせていました。

柔道・中学生

東北個人戦
4人が入賞

石川慶悟くん　久松泰斗くん　切金美希さん　三浦七海さん

第34回東北中学校柔道大会は8月2日～3日、山形県で開催。男子団体戦に出場した長内中学校は惜しくも敗れましたが、個人戦で本市選手が大活躍しました。

ともに1年生ながら久松泰斗くん（長内中）が男子50キロ級、三浦七海さん（久慈中）が女子44キロ級で3位。切金美希さん（久慈中2年）も女子57キロ級で3位入賞を果たしました。

男子81キロ級の石川慶悟くん（長内中3年）は準優勝。優勝はなりませんでしたが、積極的に技を仕掛け、力強い柔道で奮闘しました。

全国大会に向け、意欲満々の8人

8月27日に宮城県で開かれた第15回東北6県高校生徒商業研究発表大会で、県代表の久慈東高校が見事1位を獲得。11月に広島県で開かれる全国大会進出が決まりました。

出場した情報ビジネス系列の3年生8人は、小久慈焼やホウレンソウなどの特産品に着目し、7月にやませ土風館でチャレンジショップとカフェを開設。地域の魅力を発信した事業の内容をまとめ、堂々と発表しました。

代表の工藤春菜さんは「事業ができたのは多くの人の支えのおかげ。全国大会では、東北代表として良い発表ができるよう、他校の分まで頑張ります」と意欲満々。気合いを入れて臨む大舞台。東高の活躍が期待されます。